

東芝メディカルシステムズ 低音圧型の
超音波造影剤に対応した超音波診断装置
「AplioXG」を発売
(2007/1/10)

東芝メディカルシステムズ(株)は、低音圧型造影剤を使った多彩なイメージング機能を搭載した超音波診断装置の新製品「AplioXG」を発売した。

<主な特長>

● 先進のイメージング機能を搭載

コントラストハーモニック機能により効率的に造影剤からの二次高調波を抽出できる。また、観察領域の造影剤の流出入を任意のタイミングでコントロールすることができる。この際、造影剤の信号を保持して、微細な血流を映像化できるMicro Flow Imaging機能、血管内の血流と組織内の血流を色分け表示するVascular Recognition Imaging機能も搭載している。低音圧型造影剤向けには、通常の断層像と造影画像を同時に表示できる機能を搭載。造影剤を使用しない検査でも、従来に比べ深い部分まで高いコントラスト分解能で優れた画像を提供する「Differential THI」、微細な血流を鮮明に表示する「Advanced Dynamic Flow」などの技術も採用されている。

● 産科用4D機能

専用のプローブを使用することにより、胎児の顔や手足などの立体画像がリアルタイムで表示される。

● 「iStyle」の展開～高画質・大画面液晶

モニタの採用

高画質・大画面の19インチ液晶モニタは、自在に動くアームと大きなグリップハンドルで、検査者の見やすい場所へ簡単に動かすことができる。独自のリモートコントローラ「IASSIST」を併用すれば、下肢血管スキャンなど、操作パネルから離れた操作も快適に行うことができる。

● データ管理機能

検査データは大容量の内臓ハードディスクに保存され、簡単に検索できるほか、CD/DVDに記録して外部へ取り出すことも容易である。



東芝
(Aplio XG)